



統合浄水場のココがスゴイ！ 県内最大規模の膜ろ過浄水場

統合浄水場は、「膜ろ過装置」を採用しています。この装置にはセラミック製の筒が入っており、濁った水もクリアに浄化し、従来のろ過システムよりも細かな汚れを確実に取り除きます。また、長寿命である点も特徴です。さらに、機械の数値設定により自動運転が可能で、効率的な稼働を行うことができます。

燕市と弥彦村の共通の課題を解決するため、笠ヶ島地内に完成した統合浄水場。4月から本格的な水道水の供給がスタートします。特徴は、「つよ」「やわ」「しな」の3つ。地震や水害などのさまざまな環境変化に「つよい」施設であり、また、将来の人口減少に柔軟に対応でき、地球環境に「やさしい」浄水場です。さらに、安全で安心なおいしい水を継続的に提供するとともに、浄水場の一般公開などを通じて今と未来を「つなぐ」浄水場を目指しています。

統合浄水場は こんなところ

持続可能な水供給の新拠点



01 取水塔

02 前処理施設・除マンガン施設

03 膜ろ過・管理棟

つばめ・やひこ水道局庁舎

水道局では、水道料金の受付から給水装置工事受付、さらに浄水場の維持管理まで、多岐にわたる業務を行っています。専門的な知識や技術力を求めて、浄水場の運転維持管理は民間企業に委託しています。

04 配水池

05 膜ろ過・管理棟
地下室 送配水ポンプ

品質管理を徹底

膜ろ過・管理棟内にある水質計器室では、安全で安心な水をつくるため、水を処理する過程の各段階の水質を日々チェックしています。



ココもスゴイ！
配水池2つ合わせると約1万4,400トンを貯水。
燕市+弥彦村の人口約8万1,600人が、500ml ペットボトルで1人1日1本飲んだ場合、**1年分**の水量を貯水しています。



どのような過程で水道水が作られ、家庭に届けられているのか紹介します。

01 取水塔



信濃川の水を取水塔の中にある3つのポンプで汲み上げて、浄水場まで水を送ります。

02 前処理施設・除マンガン施設



水に含まれている砂やにおい、ばい菌、濁り、マンガンを除きます。細かな汚れを葉で小さなかたまりにします。

03 膜ろ過・管理棟



セラミック製の膜にある約0.1マイクロメートルの小さな穴で、小さなかたまりとなった汚れを完全に除去します。

04 配水池



安全で安心な飲み水として、きれいになった水を2つの配水池に貯めておきます。

05 送配水ポンプ



燕市内・弥彦村内の家庭に水を届けます（吉田地区・弥彦村は各地区の送水場を経由します）。



それぞれの
ご家庭にお届け